



万国外科学会(ISS/SIC) 日本支部ニュース

News of Japanese Chapter of International Society of Surgery

発行：万国外科学会(ISS/SIC)日本支部
北里大学東病院
〒228 神奈川県相模原市麻溝台2の1
TEL 0427-48-9111 FAX 0427-45-5582
発行者 岩井能樹
編集責任：万国外科学会(ISS/SIC)日本支部広報担当委員会
印 刷：Dig印刷 Tel: 03-3551-3060
年1回発行 1995年4月創刊

日本支部設立へ！

ごあいさつ

万国外科学会会長

出月 康夫

(埼玉医科大学
(総合医療センター第2外科))

持されています。

わが国支部の正式発足を機に、わが国の外科の先生方が、本学会の活動にさらに積極的に参画され、本学会の発展を通じて、外科学の進歩と外科医療の向上と国際協力、親善に、さらに寄与されることを、切に期待しております。

ごあいさつ

万国外科学会
日本支部事務局長

比企 能樹

(北里大学
(東病院外科))

S I C、万国外科学会は1902年スイスのノーベル賞受賞の外科学者テオドール・コッヘルの努力により創立され、1905年ベルギーに於いて第一回学会が開催された。以来、世界の外科医の集まる世界最古の伝統ある学会となつたが、会員の数も増え、ヨーロッパのみならずアメリカ・アジアでも開かれ、開催地は全世界に及んでいます。

日本との関わりも古く、1926年第7回ローマの学会の会長を中心とした公式な記念写真に九州帝国大学の三宅速教授の姿がある。以後、数多くの日本人外科医が参加している。

1977年にはアジアで初めて京都で、斎藤渕会長のもと、島田信勝・石川浩一両教授等のご努力により第27回学会が催された。

昨年リスボンで開催された第36回 SIC/ISS Congress の総会に於いて、出月康夫日本代表が正式に世界の SIC/ISS の President に就任されたことは、わが国にとって初めての快挙である。

更に日本部会の会員も200名を越す盛況となり、従ってわが国は世界で米・独に次ぐ三番目の Chapter に昇格することになった。

そこで昨年11月には、リスボンにおける決定に従って、日本支部長と幹事の推薦を依頼するアンケートが、出月日本代表によって日本部会会員に、実施された。

その結果、本年1月1日付けを以て、不肖私が日本支部長を拝命することに相成った。同時に新しい日本部会の運営のために、会員より寄せられたアンケートに従い幹事32名が誕生した訳である。

1月30日には早速第一回幹事会が催され、本会の直接の運営に携わって頂く常任幹事32名が支部長により指名、承認された。

今後は日本支部会の運営を“先輩諸兄のご指導のもとに、若い外科医の手によって育ててゆく”ことをモットーに、役割分担制により益々活発な活動を行い、世界に向かって羽ばたきたいと考えている。会員各位のご協力を、切に願う次第である。

ごあいさつ

万国外科学会
日本支部事務局長

山川 達郎

(帝京大学医学部付属
溝口病院外科)

この度 伝統と権威ある万国外科学会の日本部会事務局長にご指名いただきましてこの上なき光榮と存じております。

万国外科学会に私が最初に参加させていただいたのは、本会がはじめて本邦で行われた1977年のことであります。米国留学時代の恩師からも米国における本会の高い評価を聞いておりましたので、その機会に本会の名誉会員であられる斎藤渕教授のご推薦をいただき1979年に入会させていただきました。その後も本会の動向には注意を払ってはまいりましたが、本会における日本の存在価値は低く他国の学会という感を拭いえませんでした。しかし今回、日本部会が設立されたことは日本人が万国外科学会の組織の一員に受け入れられたことを意味します。ここまでこの会を育んでこられた先輩ならびに出月康夫万国外科学会会长らのご尽力は高く評価されるものであります。

日本部会は、これから万国外科学会の一員として諸外国に伍して活動して行かなくてはなりませんが、そのためには必ず会則の設定をはじめとした組織作りをしていく必要があります。また世界の中での日本部会の役割を責任をもって果たしていくなければなりません。このような時期に事務局長をお引受けすることは、誠に身の引き締まる思いが致しますが、任期中は比企能樹会長を支え、目的達成に微力ながら努力してまいる所存です。会員諸氏のご協力とご支援を心よりお願い申し上げる次第です。

主な掲載内容

●日本支部設立へ

●新しい支部の機構

●アンケート結果

●日本部会連絡会議議事録

●日本支部幹事会議事録

●リスボン学会報告



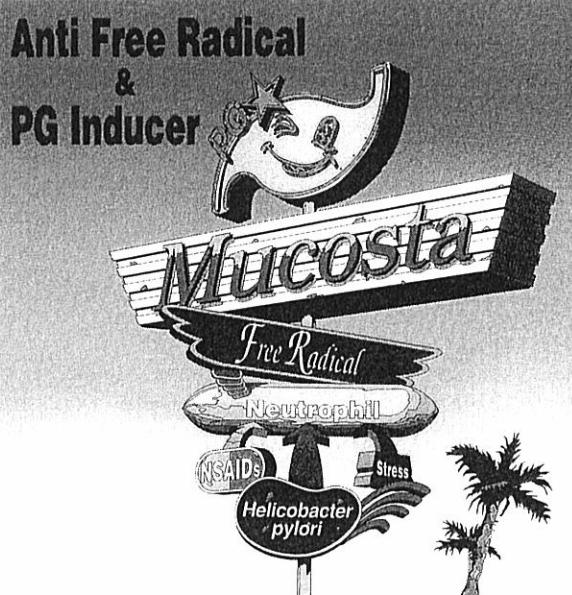
日本支部事務局
北里大学東病院 外科
〒228 神奈川県相模原市麻溝台2の1
TEL 0427-48-9111
FAX 0427-45-5582
(担当 嶋尾 仁)

新しいSIC/ISS 日本支部会の幹事

氏名	所属
1 出月 康夫	埼玉医科大学総合医療センター第2外科
2 比企能樹	北里大学東病院外科
3 馬場 正三	浜松医科大学第2外科
4 田中 雅夫	九州大学第1外科
5 青木 照明	東京慈恵会医科大学第2外科
6 今村 正之	京都大学第1外科
7 小原 孝男	東京女子医科大学内分泌外科
8 冲永 功太	帝京大学第2外科
9 恩田 昌彦	日本医科大学第1外科
10 川原田嘉文	三重大学医学部第1外科
11 北島 政樹	慶應義塾大学外科
12 北野 正剛	大分医科大学第1外科
13 小林 国男	帝京大学救命救急センター
14 斎藤 和好	岩手医科大学第1外科
15 佐藤 紀	東京大学第2外科
16 鳴尾 仁	北里大学東病院外科
17 白日 高歩	福岡大学第2外科
18 曾我 淳	新潟大学医療技術短期大学部
19 高木 弘	名古屋大学第2外科
20 高橋 俊雄	京都府立医科大学第1外科
21 田尻 孝	日本医科大学第1外科
22 高見 博	帝京大学第1外科
23 中尾 昭公	名古屋大学第2外科
24 中川原儀三	福井医科大学第1外科
25 平山 廉三	埼玉医科大学第2外科
26 松野 正紀	東北大学第1外科
27 村田 宣夫	埼玉医科大学総合医療センター第2外科
28 門田 守人	大阪大学第2外科
29 磨伊正義	金沢大学がん研付属病院
30 松本 由朗	山梨医科大学第1外科
31 山岡 義生	京都大学第2外科
32 山川 達郎	帝京大学溝口病院外科

第1回日本支部会のご案内

1996年4月11日12:20~13:20(外科学会第2日)
於:幕張メッセ国際会議場第6会場



ムコスタの特徴

- 胃酸・PG抑制作用: フリーラジカル抑制作用を持つ特徴での貢献: 食道癌治療でH.pylori感染による粘膜傷害を抑制します。
- COOH-を含め、再燃を防ぎます。
- 胃炎***特にびらん性に優れた効果を示します。
- 副作用発現率は0.69% (43/6,275)でした。主な副作用は、便通(6件)、GPT上昇(5件)等でした。
- NSAID non-steroidal anti-inflammatory drug (NSAID)の副作用:
- Gastrin Quinacrine-leucine test結果:

(効能: 効果)

- 下部食道の粘膜保護(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善

- 胃炎、十二指腸炎の改善

- 下部食道の粘膜保護(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善

○リスボン学会報告②

Proposed Change of the Constitution, Article VI

リスボンでの総会で、規約が以下のように変更された。

Actual wording : (改正前)

- a) Recommendations from International Committee regarding the Locations and dates of future congresses and nominations for the election up to 6 Vice President of the next Congress.

Proposed change : (改正後)

- a) Recommendations by the International Committee with regard to priorities for the locations and dates of future congresses. Based on this final decision shall be made by the Executive Committee after careful consideration of all relevant questions (convention facilities, visa restrictions, hotels and other important aspects).

- b) *Election of up to 6 Vice Presidents for the next Congress. Each Integrated Society has the right to elect one Vice President out of the 6 during their own General Assembly.*

*Former section b)-Nominations by the Nominating Committee becomes newly c)
whereas former c)-Nominations from the Executive Committee shall become newly item d).*

◆国別会員状況◆

チューリッヒでの万国外科学会理事会で、国別会員数が以下のように公表された。

3'141 Active Members (正会員)

国名	人数
1. Algeria	1
2. Argentina	48
3. Australia	123
4. Austria	31
5. Bahrain	4
6. Bangladesh	2
7. Belgium	62
8. Bolivia	1
9. Brazil	5
10. Bulgaria	3
11. Cameroon	1
12. Canada	48
13. Chile	29
14. China	39
15. Colombia	39
16. Costa Rica	1
17. Croatia	1
18. Cuba	15
19. Cyprus	10
20. Czech Republic	9
21. Denmark	8
22. Dominican Rep.	2
23. Ecuador	14
24. Egypt	9
25. El Salvador	1
26. Estonia	1
27. Finland	17
28. France	83
29. Germany	160
30. Ghana	1
31. Greece	92
32. Guatemala	14
Honduras	33
Hong Kong	34
Hungary	35
India	36
Indonesia	37
Ireland	38
Israel	40
Italy	41
Japan	42
Jordan	43
Kasakhstan	44
Kenya	45
Kuwait	46
Latvia	47
Lebanon	48
Libya	49
Luxemburg	50
Malaysia	51
Malta	52
Mexico	53
Moldavia	54
Morocco	55
Mozambique	56
Myanmar	57
Netherland	58
New Zealand	59
Nigeria	60
Norway	61
Oman	62
Pakistan	63
Panama	64
Peru	65
Philippines	66
Poland	67
Portugal	68
Romania	69
Russia	70
Saudi-Arabia	71
Singapore	72
Slovakia	73
South Africa	74
South Korea	75
Spain	76
Sri Lanka	77
Surinam	78
Sweden	79
Switzerland	80
Taiwan	82
Thailand	83
Tunisia	84
Turkey	85
UAE	86
Ukraine	87
UK	88
USA *	89
Uzbekistan	90
Venezuela	91
Vietnam	92
Yemen	93
Yugoslavia	94
Zimbabwe	95

(会費未納者は除かれています)

619 Senior Members (特別会員)			
Argentina	1	Netherlands	17
Australia	8	Philippines	1
Austria	10	Poland	11
Bahrain	1	Portugal	8
Belgium	22	Rumania	4
Canada	3	Slovakia	1
Chile	1	South Africa	3
China	4	Spain	21
Colombia	1	Sweden	9
Croatia	1	Switzerland	26
Cuba	1	Turkey	1
Czech Republic	1	United Kingdom	18
Denmark	8	Uruguay	1
Ecuador	1	USA	249
Egypt	1	Venezuela	8
Estonia	1	Yugoslavia	3
Finland	7	Zaire	1
France	47	21 Honorary Members (名誉会員)	
Germany	70	Argentina	1
Greece	13	Austria	1
Guatemala	1	Belgium	1
Hungary	2	China (People's Rep.)	1
India	1	France	2
Ireland	5	Hong Kong	1
Israel	6	Japan	1
Italy	5	Poland	1
Japan	10	Russia	2
Lebanon	1	Spain	1
Luxemburg	1	Switzerland	2
Malaysia	1	United Kingdom	1
Malta	1	USA	5
Mexico	1	Venezuela	1

◆アカプルコでのSurgical Weekまでの日程◆

本年3月1日チューリヒで理事会が開かれ、以下の日程が決定された。

May 30, 1996

Submission of the finalized Preliminary Program which includes mainly the Plenary Sessions, Symposia and Lectures as well as Luncheon Panels with

- main titles with names of confirmed

Moderators &

- subtitles with confirmed names of Panelists.

(a maximum of 5 Panelists including the Moderators is acceptable)

June 30, 1996

Final submission of Manuscripts for the Preliminary Program.

August 1, 1996

Delivery of the Preliminary Program by the printer and distribution to the Members of the various Organizing, Integrated and Participating Societies.

September 30, 1996

Nomination of Referees for the anonymous grading of Abstracts for.

- ISS/SIC

- Integrated Societies

- Participating Societies

Requests for Moderatorship in

- Free Paper

- Poster and

- Video Sessions

in Sessions organized by ISS/SIC.

December 13, 1996

Deadline for the submission of Abstracts for.

- Free Papers

- Posters

- Videos

December 31, 1996

All Abstracts must be sent out to the Referees of the various Referee Groups.

January 31, 1997

Deadline for early Registration for ISS/SIC Members.

February 15, 1997

Final submission of the gradings by the Referees.

February 28, 1997

Final selection of ISS/SIC Abstracts at ISS/SIC Program Committee Meeting in Zurich Airport Hilton Hotel.

Submission of the Free Paper and Poster Sessions of the various Integrated and Participating Societies only by a written report to the ISS/SIC Program Committee.

March 16, 1997

All Presenting Authors of submitted Abstracts will be informed about acceptance or rejection of their Abstracts.

April 30, 1997

Deadline for pre-Registration of Presenting Authors of Abstracts for presentation in the Free Paper, Poster or Video Sessions.

Note: All Presenting Authors who have not registered by this Deadline will be removed from the Program. This consequently will cause some changes in the Final Program. The reason for this step is to avoid no-shows and in order to avoid that one Presenting Author will present additional Abstracts of his colleagues.

June 14, 1997

Submission of the corrected and adjusted Program of Free Paper and Poster Sessions of the various Integrated and Participating Societies to SERVIMED. This includes the nomination of two confirmed Moderators for each Free Paper or Poster Sessions.

June 30, 1997

Submission of corrected manuscripts for the Final Program to the printer. After this date, only minor changes can be made.

July 31, 1997

Delivery of the Final Program Book as well as of the Abstract Book to SERVIMED in Mexico City.

August 15, 1997

Arrival of Final Program and Abstract Book in Acapulco.

37th World Congress of Surgery

International Surgical Week ISW 1997

to be held in Acapulco, Mexico

from August 24 to 30, 1997

ジム・座長などの決定にさいして initiative をとっていくことも必要かと思います。また、10年後ぐらい先には日本への学会誘致の可能性も高まっております。このような飛躍の時期にあって、日本支部会がパワーを發揮するにはさらに多くの先生方に入ってきていただくことが最も大事と考えております。

具体的には、年会費\$120で、学会機関誌であります“World Journal of Surgery”が送られてきます。この雑誌は最近レベルが上がり、impact factor も1.5となってきております。それもこの会が広く認知されてきた結果だと思います。会員の資格は外科医として10年程度の経験があり、今後積極的に学会活動をしていく意欲のあられる方でしたらどなたでも結構でございます。Membership Application Form は日本支部会事務局に請求して下さい。送られてきた申込用紙に必要事項を記入され、業績目録と写真等を添えて、事務局までご送付お願いしたいと存じます。最終的に ISS 本部で承認され正会員になりますと、日本支部会の正会員になります。

以上のような状況でありますので、先生方には是非ともご尽力戴きたく宜しくお願い申しあげます。

常任幹事（企画運営担当） 高見 博
(帝京大学第1外科)

胃炎・胃潰瘍にセルベックス

胃炎・胃潰瘍の場合は胃粘膜

胃粘膜の再生と保護作用を示す。

●胃粘液分泌により胃粘膜の再生と保護作用を示す。

●胃炎・胃潰瘍の欠損粘膜を修復し、治療を促進する。

●胃炎、特にびらんの内視鏡所見の改善にすぐれる。

●副作用発現率は48% (52症例/10,914症例)。

主な副作用 GOT 上昇2例 (0.2%), GPT 上昇1例 (0.1%), 尿管炎2例 (0.2%)など (1991年現在)。

●精神神経系にまれに頭痛等があらわれることがある。

●過敏症／まれに発発、瘙痒感等があらわれることがあるので、このような症候があらわれた場合は投与を中止すること。

●この他の、まれに経口コスチロールの上昇、頭痛の発生・熱等があらわれることがある。

●肝機能：ときめ GOT, GPT が軽度上昇することがある。

●2)高齢者への投与

高齢者への投与

一時的に高齢者では生理機能が低下しているので用量を減量するなど注意すること。

●妊娠中の投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊娠婦又は妊娠している可能性のある婦人に、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

●小児への投与

小児に対する安全性は確立していない (使用頻度がない)。

●1995年7月改訂

●ご使用に際して、添付文書をご参照ください。

●胃炎・胃潰瘍治療薬

セルベックス 50mg/10%

Eisai

エーザイ株式会社

〒112-8341 東京都文京区大塚1-6-10

TEL:03-3911-1111

FAX:03-3911-1111

郵便番号:112-8341

大塚1-6-10

東京都文京区大塚1-6-10

TEL:03-3911-1111

FAX:03-3911-1111

郵便番号:112-8341

大塚1-6-10

東京都文京区大塚1-6-10

TEL:03-3911-1111

FAX:03